

# カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 人材サポート有限会社

26-22-12-066-077

## B. 生涯キャリア形成

役割の変化への対応

### 066 中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成

コースのねらい

中堅・ベテラン従業員が職務の棚卸しを通じて今後の求められる役割を再確認した上で、役割の変化に対して円滑に対応できるよう知識と技能を習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
				月 日	時刻
講義内容	1 職務の棚卸し	(1) 企業主体のキャリア形成から自己主体のキャリア形成 企業主体のキャリア形成の考え方と自己主体のキャリア形成の考え方について解説する。社会の変化 雇用の変化 求める人材の変化について解説する。	0.5	令和8年 10月8日(木)	9:30~16:30 昼休憩 11:45~12:45
		(2) 強み・弱み分析【演習あり】 キャリア形成における自己分析の方法を解説する。キャリアの強み・弱みについてワークシートを活用しながら検討・分析を行う。	0.5		
		(3) 資格、実務経験、強み、人脈の組み合わせ【演習あり】 時系列による業務・資格経歴ワークシート・人脈ワークシートの作成方法を解説する。キャリア分析の組合せである自己啓発目標設定ワークシートの作成により自己の強みを導く。	0.5		
	2 求められる役割	(1) 中堅・ベテラン従業員に求められる役割 中堅・ベテラン社員に求められる業務スキル、職務スキルについて解説する。・上司とのコミュニケーションの役割について解説する。・上司からのプレイクダウンと目標設定におけるコミュニケーションについて解説する。メンバー指導における育成マネジメントスキルについて解説する。	0.5		
		(2) 目標設定 いい目標とは何かについて解説する。企業ベクトルと個人ベクトルの接点による目標設定手法と目標を実現するためのKPI・プロセスを解説する。	0.5		
		(3) 必要なスキル【演習あり】 テクニカルスキル・ヒューマンスキル・コンセプチュアルスキルを説明し、具体的な開発手法を解説する。5つのコミュニケーションスキルを解説する。個々のスキル開発を検討する。	0.5		
	3 後輩従業員に対する相談・援助・指導スキル	(1) ティーチング【演習あり】 ・ティーチングとファシリテーション、インストラクト、デベロプメントの違いについて解説する。・ティーチングを進めていくための、効果的なプロセスについて解説する。効果的なティーチングのスキルについて解説する。ケーススタディを通して理解を深める(グループワークによる検討)	0.5		
		(2) コーチング【演習あり】 ・コーチングの目的を理解するために、モチベーションとの関係について解説する。・コーチングの定義について解説する。・ケーススタディからコーチングの実践(傾聴、質問、フォロー、自己管理、承認)を解説しスキル向上に繋げる。(グループワークによる検討)	0.5		
		(3) メンタリング メンタリングとは何か、メンタリングの目的を解説する。メンタリングとOJT・エルダー・コーチングの違いについて解説する。メンティの不安解消・メンターの成長・コミュニケーション円滑など導入による効果を解説しスキル向上に繋げる。	0.5		
	4 役割の変化に応じた他者との関係構築スキル	(1) アサーティブな関係構築 お互いを尊重しながら意見を交わすコミュニケーションについて解説する。アサーティブ4つの柱を理解し、自分の気持ちや考えをその場にふさわしい方法で表現できるコミュニケーションを解説する。アサーティブな聴き方を具体的なチェック項目を交えながら解説する。	0.5		
		(2) 感情のコントロール【演習あり】 感情のコントロールについて解説する。役割に応じた他者との関係をEQ(感情指数)における24素養から自分の開発素養を導き出す方法を解説しワークシートによる分析を行う。	0.5		
		(3) ハラスメント【演習あり】 ・ハラスメントの種類と内容・民事上の個別紛争相談内容の推移・ハラスメントが及ぼす影響・ハラスメントの行為類型を解説する。多様な人が共に働く時代のハラスメント防止と対策についてグループにより検討を行う。	0.5		
			合計時間	6時間	

#### カリキュラム作成のポイント

中堅・ベテラン従業員の知識と経験を職場で活かして職場のコミュニケーションを活性化させながら、本人のキャリア形成につなげていくための訓練となっています。グループワークや情報交換を実施しながら、職場の課題解決と中堅・ベテラン従業員のキャリア形成を両立させるために必要な知識と実行力を習得できるカリキュラムです。ワークシート作成による自己分析からの発見、EQ(感情指数)による関係構築力向上につながるスキルアップなど実践的であり、わかりやすい内容の訓練となっています。